

(2026年6月10日発表)

7月1日～^{せりざわけいすけ} 芹沢銈介美術館企画展「暮らしに型染を 芹沢染紙研究所の挑戦」の開催

静岡市立芹沢銈介美術館では、7月1日(水)から、芹沢銈介が創設した「芹沢染紙研究所」の活動に焦点を当て、作品を紹介する企画展「暮らしに型染を 芹沢染紙研究所の挑戦」を開催します。

【趣旨・背景】

- ・染色家・芹沢銈介(1895年～1984年)は、1927年に柳宗悦が著した「工藝の道」を読んで強い感動を受け、民藝運動の主要メンバーの一人として活動するようになりました。柳が目指したのは、優れた工芸品を量産し、一般に安価に提供することで、人々の日常生活を美しいものにすることでした。
- ・1955年、芹沢は自邸内に「芹沢染紙研究所」を設立し、新たな型染の用途を開拓しました。カレンダーやグリーティングカード、うちわ、扇子、包装紙など、暮らしの中で使われる製品が数多く生み出され、国内外へ広く提供されました。
- ・本企画展では、2025年度に新たに寄贈された作品を含む約300点を展示し、約30年にわたって続けられた芹沢染紙研究所の仕事を振り返ります。

【開催日時・期間・会場】

2026年7月1日(水)～9月23日(水・祝)

休館日:毎週月曜日(7/20、9/21は開館)、7/21、8/12 (開館時間:9時～16時30分)

静岡市立芹沢銈介美術館(静岡市駿河区登呂五丁目10-5)

【観覧料】

一般420円/大・高生260円/小・中学生100円

※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生(通学含む)・未就学児は無料

※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【公式ホームページなど】

【HP】www.seribi.jp 【X】@seribi_shizuoka

【問い合わせ先】

観光文化・市民局文化政策課 静岡市立芹沢銈介美術館 担当者:津野、田中

電話:054-282-5522